



第8回スピーチ集会

沃野



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第31号

発行責任者
校長
仲田欣五

「小学校と中学校で変わったこと」 (1年 上田脩太)

小学校と中学校で変わったことは、制服が制服用に替わり、各教科に先生がいて、教師が増えました。



小学校の時は、担任の先生が一人で全教科を教えていました。それだけではなく、朝の会から帰りの会まで、先生と僕たちは一日を暮らしました。そのため、一日生活するのは、きつい時もありました。でも中学校では、各教科に担当の先生がいて、毎時間違う先生なので切り替えがスムーズになりました。特に僕は英語の時間が好きなので、こういう面は中学校が好きです。もう一つは、洋服から制服に変わったことです。それから、ランドセルから自分のカバンに替わったことです。小学校の時は、あまり教科書が入らなかったけど、中学校では自分でサイズを決めることができました。学習用具が入るようになりました。

もう一つ違うところは、小学校と中学校で始まる時間が違うことです。そのおかげで、小学校の時よりも朝早く起きるようになりました。

部活動では、バスケだけでしたが、中学生になってから、吹奏楽が増えました。最初は吹けるかどうか心配だったけど、先輩たちが教えてくれたので、吹けるようになりました。

いろいろ挙げてきましたが、僕は中学校の方が好きです。理由は、生徒数が少ないことで、人数が少ないことで部活や授業など、集中できるからです。

あと三ヶ月で後輩が入ってくるのでみんなをまとめられるようになります。

小学校の生活と新しい中学校での生活をしっかりと比べられていて良かった。また、中学校の方が楽しいという考えにとっても共感できました。船中は、たくさんの行事で、やること多いですが、みんなで協力して楽しい生活を送ってください。スピーチお疲れ様でした。

(3年 村田海渡行)

「1年クラスの変わったところ」 (1年 仲里和歌子)

私たち1年生は今年から中学生になります。小学校の時の私たちと現在の私たちを比べてみることにしました。



小学校低学年から、1週間に1回は激しいけんかをしていました。かんだり、なぐったりなど、止めきれないほど激しいけんかをしていました。それを思い出してみると、今では少し言葉の言い争いぐらいはあったり、やられてもやり返さなくなったなど、激しいけんかは無くなったと感じます。小学校の時は、けんかからの友人関係があり、席替えて問題が出てきてしまい、当時から5年生担任の晃一先生に一度強く怒られることがありました。でも、強く怒られて私は良かったと今では感じます。このことをきっかけに、私たちは仲が深まったと思うし、晃一先生には感謝しています。6年生になると休日にみんな集まって遊んだりするぐらい仲が深まりました。

小学校と中学校では、違う行事がたくさんあります。例えば、体育祭、炭焼き体験など中学校では行事が増えて、みんな協力することが増えて良かったです。そして、中学生になったら、時計を見て行動するということが、小学生の時よりできていると感じます。小学校の時は、チャイムが鳴っていたので、時計をあまり気にしていなかったかも知れませんが、中学校ではチャイムが鳴らないため、時計を気にするようになったからです。

このように、成長した部分はあるけど、まだ成長できていない部分もたくさんあります。例えば、教室内で遊んでしまうことや課題を提出していないなど、小学生のままの部分もあると思います。今の2、3年生のようにもっと頑張っていきたいです。そして、3ヶ月もすれば2年生になり、後はいも入ってきます。今の先ばいを見習って、見本になる船中生になれるように頑張っていきたいです。

小学校と中学校で変わったことを細かく、くわしく書かれていて、とても聞きやすかったです。スピーチお疲れ様でした。

(1年 森合 渉)

私も6年生の時に複式学級で一緒になりましたが、今の1年生は、あの時よりもしっかりしているなと感じます。これからもみんなで協力して頑張ってください。

(2年 川満 夕)

確かに小学校の時と比べてみたら、成長したと思います。その中で先輩たちと比べて改善するところまでやっていて、すごいと思いました。スピーチお疲れ様でした。

(1年 池間正和)